

2020年8月4日

名古屋市長 河村たかし 様

日本共産党愛知県委員会
委員長 岩中正巳
日本共産党名古屋市会議員団
団長 田口一登

危機的な感染拡大を抑止するため大規模なPCR等検査などを求める

緊急申し入れ

名古屋市の新型コロナウイルスの感染拡大が過去最多を更新し続けており、きわめて憂慮する事態となっています。

東京都医師会の尾崎会長は、感染抑止のためには全国の感染震源地(エピセンター)化した地域を特定し、その地域で大規模なPCR等検査を行なう必要があると強調しています。現在の感染の急速な拡大を抑止するためには、PCR等検査を大規模に実施し、無症状の人も含めた「感染力」のある人を見つけ出して隔離・保護する以外にありません。

一刻の猶予もありません。7月28日の申し入れの具体化として、下記の対策の緊急実施を要請します。

記

1. 感染震源地において、無症状者も含めて感染力のある陽性者が特定されず感染拡大の原因になっていることから、錦三丁目など繁華街の住民、事業所の在勤者の全体、連絡可能な顧客に対して、防疫を目的にPCR等検査を実施すること
2. 医療、介護、福祉施設、保育園、幼稚園、学校等、集団感染によるリスクの高い施設に勤務する職員、出入り業者への定期的なPCR等検査を実施すること。必要に応じて施設利用者全体を対象にPCR等検査を実施すること
3. より迅速で安全に大量の検体採取が可能な「唾液検査キット」を積極的に採用すること。また、大量のPCR等検査を可能にするため、公的機関や大学等研究機関、民間検査機関などあらゆる機関に協力を求めること
4. 自宅待機にならざるを得ない陽性者に対し、隔離・保護を徹底するため、当面の食料や生活衛生用品などを詰めた「自宅療養パック」を配布すること
5. 名古屋市に感染者が集中していることから、情報を愛知県と共有し、市と県が一体となって、人的・財政的確保に全力を尽くすこと

以上